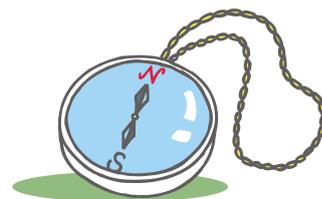


# 羅 針 盤



第 18 号 令和3年（2021年）10月4日（月）

## ◆ いちばんたいせつなことは、よく見えない

「ものごとはね、心でよく見なくては目には見えない。いちばんたいせつなことは、よく見えない。」これは、フランスの作家サン＝テグジュペリの『星の王子さま』からの一節です。目には見えない大事なことに気づき、それを大切にする生き方をすること、それが作者であるサン＝テグジュペリが『星の王子さま』に込めたメッセージであり、そのことに気づくことで、私たちにも心の目で捉えるべき幸せな世界が広がっていくということを伝えたかったようです。実際に『星の王子さま』を読み解いても、なかなか気づくことが難しい内容でもあります。「心で見ないとよく見えない」という作者の言葉は、大事なことは目には見えないけれど、心で受けとめることが何よりも大事なことであり私たちに投げかけています。「人と人との絆」といったものや、「人と人との繋がり」、現在の全世界で起こっているコロナ禍の中で過ごす日常生活、そのような中でも大切なことを見失ってはいけないということを、改めてこの『星の王子さま』という作品は投げかけてくれている気がします。「心の目で見る」という行為から学ぶべきこと、それは人と人とお互いの気持ちを理解し、それぞれの気持ちに寄り添うということではないかと思います。王子さまは、出会いと別れを繰り返す中で、成長し、そして、目には見えない人と人との絆をつくりあげていくことの大切さを知ることとなります。私たちは、私たちが住む同じこの世界をそれぞれが自分の関心や価値観を通して違った風にとらえて過ごしています。人それぞれの心の持ち方によって、見える風景は違ったとしても、大切にすべきことは決して変わることはない、作者であるサン＝テグジュペリは訴えかけているのです。心にあるものですべてが変わることを私たちが少しでも気がついて、王子さまと同じように「心の目で見る」という本質を追い求めていくことが必要だと感じずにはられません。



## ◆ なぜ、勉強するのか

何のために勉強するのか。その一つの答えとして、自由を得るためであると答える人がいます。資格を取り、いつでも仕事に就ける条件を持っていれば、今より自由でいられるかもしれません。でも、自由を得ることは容易なことではありません。自分になりたいと思う職業に就くには、それなりの資格が必要なことがたくさんあります。そのために、人一倍の努力と学びを深めることも当然必要なことです。また、資格を持っていれば、困っている人を助けることもできます。何のために勉強するのか。また違う答えとして、人を助けるための実力をつけるためと答える人もいます。人を助けるということは、困っている人にものをあげるということではありません。人を助けるためには、自分の持つ技術を教えることが大切なことです。勉強を積み重ね、自分の得意なことを教えることができる技術は、他には代え難いものがあります。先週末に2学期の中間テストが終了しましたが、しっかりと勉強して臨むことができたでしょうか。今一度、この機会にしっかりと振り返ってほしいと思います。